020061_ﾛﾎﾞｯﾄ支援腹腔鏡下前立腺全摘術

ステップ名称	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	ステップ5	ステップ6	ステップ7	ステップ8
	1日前	基準日			1日後	2日後～3日後	4日後～5日後	6日後	7日後	8日後
		術前	術中	術後						
到達目標	手術について理解ができ、心身の準備ができる			創痛がコントロールできている		食事が開始できる		膀胱内留置カテーテル抜去後自尿がある	骨盤底筋運動が実施できる	日常生活の注意点を理解し退院できる
						歩行ができる		骨盤底筋運動が理解できる	パッドでの尿失禁管理ができる	
処置	臍のゴマを取ります			酸素マスク、心電図モニターをつけます	6時に酸素マスクや心電図モニターを外します	2日後にドレッシング材を除去します		尿の管を抜きます		主治医の許可で10時頃退院です
				創部に管が入っています	マッサージ機は動けるようになれば外します	3日後に創部の管を抜きます				
				尿の管が入っています						
検査			手術中に胸部・腹部のレントゲンを撮ります		胸、腹のレントゲンがあります	3日後に血液検査があります	腹部のレントゲンをとります	膀胱・尿道の造影検査があります	血液検査があります	
					血液検査があります					
体温・呼吸・循環	入院時に体温・脈拍などを測ります 入院時に体重測定をします	手術室に行く前に体温などをはかります		適時体温、脈拍などをはかります	6時、10時、14時、19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります 毎日尿の回数や尿漏れについて伺います	
注射	16時　点滴を挿入します	持続点滴をしています		持続点滴中です 抗菌薬の点滴を行います	持続点滴中です	持続点滴中です 3日後12時　点滴を抜きます				
投薬	持参薬があればお知らせください	6時　医師の指示薬があれば服用します				指示の持参薬を服用します				退院時、処方があれば継続します
	入院後の内服薬の服用について説明があります									
	14時に下剤を服用します									
清潔・排泄	入浴します	手術30分前までに排尿をすませます			身体を拭きます 尿の管が入っている間は毎日おしりも洗います	陰部を洗浄します	シャワー浴ができます	シャワー浴ができます	シャワー浴ができます	シャワー浴ができます
		排便がなければ浣腸します								退院後、入浴できます
食事	昼食後から絶食です お茶・お水は飲めます	絶食です 朝7時まで水分は取れます		指示があるまで絶飲絶食です	飲水ができます	2日後昼から五分粥が始まります 3日後昼から全粥が始まります	昼から普通食が始まります			退院後、制限はありません
活動・安静度	制限はありません	制限はありません		2～3時間毎に体位交換をします ベッドアップは30度までです	病棟内歩行ができます	2日後から病棟内歩行ができます 3日後から病院内を自由に動けます				退院後、創部に痛みが出ない程度の運動はできます
教育・指導・説明・リハビリ	ICUの看護師からICU入室について説明があります		家族の方は手術待合室でお待ちください	家族の方に手術結果の説明があります			5日後尿取りパットを準備してください	尿失禁・排尿記録の記載方法について説明があります	排尿記録の確認をします	排尿記録の確認をします
	主治医から手術について説明があります			痛みが強い時はお知らせください				骨盤底筋体操について説明があります	骨盤底筋体操をします	骨盤底筋体操をします
	看護師から手術について説明があります			手術後はICUに入室します				蓄尿について説明があります	リンパ節郭清を行ったかたは、看護師から生活の注意点について説明があります	
	薬剤師から薬についての説明があります			16時　ICUから病棟に移ります				尿もれ対策のパンフレットを渡します	14時までで蓄尿は終了です	主治医から退院について説明があります
	特別な栄養管理の必要性（有）									退院後、骨盤底筋体操を継続します 今後、定期的にPSAなどの血液検査があります
	骨盤底筋体操のパンフレットを渡します									
書類	手術同意書・麻酔同意書・自己血、輸血同意書・特定生物由来製品説明書を看護師詰所に提出してください									退院療養計画書を渡します 請求書を渡します
	入院診療計画書を渡します									退院のしおりを渡します
手術										